画像番号１　《飛香舎（藤壺》　1965（昭和 40）年　松阪市蔵

【開館 40 周年記念】

宇 田 荻 邨 展

UDA Tekison

三重県立美術館の開館 40 周年記念展第一弾は宇田荻邨（うだてきそん）展です。美術館が開館した 1982 年度には、【没後 3 年記念 宇田荻邨展】を開催。開館後はじめてとなる日本人画家の個展となりました。今回の展覧会はおよそ 40 年ぶりの大規模な荻邨展です。

三重県松阪市に生まれ、京都画壇を代表する日本画家として活躍した宇田荻邨（1896-1980）。流麗な描線と明るく爽やかな色彩で、現実の京都以上に美しいといわれる格調高い京洛の四季を描き出し、現在も高く評価されています。三重県内外の所蔵者のもとで長い間大切に保管されてきた初期から晩年までの代表作に、大下絵、写生帖、さらには故郷・松阪との繋がりを示す作品を加えて展観し、65 年に及ぶ荻邨の画業を紹介します。

※会期中、展示替えをおこないます。

※掲載内容に変更が生じる場合があります。最新の情報は当館ウェブサイトをご覧ください。

展覧会概要

会　期：2022 年 4 月 23 日(土)−6 月 19 日(日)
開館時間：午前 9 時 30 分−午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
休 館 日：毎週月曜日（5 月 2 日は開館）
主　催：三重県立美術館、朝日新聞社
助　成：公益財団法人岡田文化財団、公益財団法人三重県立美術館協力会
協　賛：井村屋グループ、岡三証券株式会社、株式会社三十三銀行
中部電力パワーグリッド株式会社、日本トランスシティ株式会社
株式会社百五銀行、三重交通グループホールディングス株式会社
有限会社和田金、桑名三重信用金庫／北伊勢上野信用金庫／
津信用金庫／紀北信用金庫
後　援：松阪市、松阪市教育委員会
観 覧 料：一般 1,000 (800) 円 学生 800 (600) 円 高校生以下無料

＊( )内は前売および 20 名以上の団体割引料金

＊この料金で、「美術館のコレクション」、柳原義達記念館もご覧いただけます。

＊生徒・学生の方は生徒手帳・学生証等をご提示ください。

＊障害者手帳等（アプリも含む）をお持ちの方が観覧する場合、付き添いの方 1 名も観覧無料。

＊県内学校（小・中・高・特支）等が来館する場合、引率者も観覧無料（要申請）。

＊毎月第 3 日曜の「家庭の日」（5月15日、6月19日）は団体割引料金でご覧いただけます。

＊主な前売券発売所：チケットぴあ、ファミリーマート、セブン-イレブン他

宇田荻邨とは？

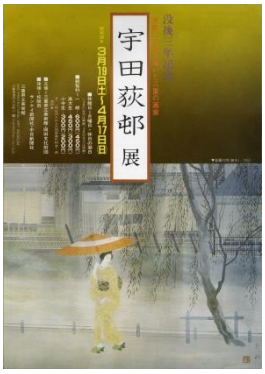
荻邨は、1896（明治 29）年、現在の松阪市に生まれ、伊勢の画家・中村左洲に絵の手ほどきを受け、写生、運筆、模写にはげみます。1913（大正 2）年、画家になることを決意して、京都の菊池芳文の門に入り、翌年には京都市立絵画専門学校別科に入学しました。

1919（大正 8）年、第一回帝国美術院展覧会（帝展）に《夜の一カ》が入選した荻邨は、第 7 回帝展では《淀の水車》で帝国美術院賞を受賞。以後も帝展、新文展、日展などを舞台に活躍して、近代日本画の歴史に輝かしい業績をのこし、1980（昭和 55）年 1 月に逝去しました。

展覧会の見どころ

1. 40 年ぶりに宇田荻邨の代表作を一堂に公開

本展覧会は、1983（昭和 58）年に三重県立美術館で開催した「没後 3 年記念 宇田荻邨展 ―清爽に京洛を描いた三重の画家―」以来、およそ 40 年ぶりの大規模な宇田荻邨展です。



1983 年「宇田荻邨展」チラシ

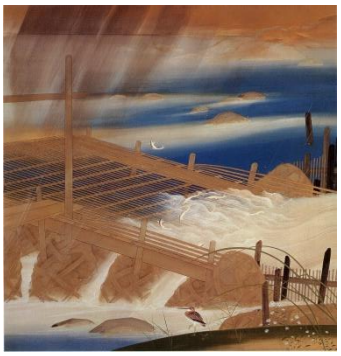
2. 荻邨の画風のうつりかわりを代表作でたどります

本展覧会では、第一回帝展で初入選を果たした《夜の一カ》（個人蔵）、第八回帝展で宮内庁買上げとなった《溪澗》（宮内庁三の丸尚蔵館蔵）、画業後期の代表作《清水寺》（京都市美術館蔵）などの名品をご覧いただけます。

画像番号 2《夜の一カ》 1919（大正 8）年 個人蔵

3. 郷里・松阪とのつながりを感じさせる作品も展観します

本展覧会では、郷里・松阪の偉人である本居宣長を描いた《鈴屋翁像》（個人蔵）のほか、荻邨の母校である松阪市立第一小学校に寄贈された《梁（やな）》《魞（えり）》など、松阪市の個人、機関に伝わる作品もご紹介します。



画像番号３《梁》 1933（昭和８）年
松阪市（第一小学校）蔵

4. 写生帖、大下絵も多数展示します

三重県立美術館は、荻邨による写生帖や下絵などの資料を 300 点以上所蔵しています。本展覧会では、本画（完成作品）とともに、その下絵や写生図も展示し、荻邨の作画の背景にせまります。

《夜の一力（下絵）》 1919（大正８）年 三重県立美術館蔵

会期中のイベント

※手話通訳・要約筆記が必要な方は事前にご相談ください。

■ 美術講演会 「荻邨と京都」

講師：毛利伊知郎（三重県立美術館 前館長）
5月14日（土） 午後２時30分から （60 分程度）
場所：三重県立美術館地下１階講堂
要申込／参加無料／定員70名（予定）

当館ウェブサイトの専用フォーム、または往復はがきにてお申し込みください。往復はがきの場合、参加者の名前（１通につき3人まで）、当日連絡先（電話、メールアドレス）を添えて美術館にお送りください。申込多数の場合は、抽選し、締切後に結果をお知らせします。

■ 担当学芸員によるスライドレクチャー

6月11日 （土）午後 2 時30分から（60 分程度）
場所：三重県立美術館地下1階講堂
申込不要／参加無料／定員 70 名（予定、先着順）

画像番号４ 《桂離宮笑意軒》
1964（昭和 39）年 東京国立近代美術館蔵

広報用画像のご提供について

本プレスリリース掲載の画像を広報用に提供します。
ご希望の方は、注意事項をお読みの上、下記連絡先に希望の画像番号をお知らせください。E メールにて画像をお送りします。

■掲載にあたってのお願い

・上記キャプション（作品名、所蔵者名）を画像と一緒に掲載してください。

・作品画像への文字乗せ、画像トリミングはご遠慮ください。

・掲載物を1部、または紙面データを美術館にお送りください。

・ウェブサイト上に掲載する場合はコピーガードをかけ、転載禁止の旨を明記してください。

・画像データの広報目的以外の使用はできません。

■お問い合わせ

三重県立美術館 学芸普及課 道田（みちだ）、村上、坂本

TEL：059-227-2100（代表）／FAX.：059-223-0570

E メール：bijutsu2@pref.mie.lg.jp

〒514-0007 津市大谷町11

https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/

Follow us on Twitter @mie_kenbi